

学校法人さかえ学園 幼保連携型認定こども園谷津幼稚園

令和6年度自己評価

下記の数字は%

番号	質 問	◎	○	▲	×
1	園の教育理念や教育方針を理解している。	21.4	75	3.6	0
2	園の教育理念や幼稚園教育要領を踏まえた指導計画を立てている。	7.1	82.1	7.1	3.6
3	教育課程の具体的実施計画として、長期・短期の指導計画を作成している。	10.7	75	14.3	0
4	日々の保育の記録をとり反省や検討をし次の指導計画に生かしている。	32.1	53.6	14.3	0
5	安全で清潔感のある環境構成をしている。	35.7	50	7.2	7.1
6	乳幼児の自発的活動を引き出す用具や材料などを適切に準備し配置している。	7.1	82.2	10.7	0
7	自然環境や地域の特徴なども生かす環境構成になっている。	10.7	67.9	21.4	0
8	楽しい雰囲気の中で安定して遊び込める環境構成になっている。	21.4	71.5	7.1	0
9	自分の保育と計画の評価・反省を日々行うように努め、他の教師にも意見を求めながら次の保育・計画に生かすようにしている。	28.6	60.7	10.7	0
10	一般的発達理論の他、特別支援教育など特殊な発達段階についても理解している。	3.6	75	21.4	0
11	家庭や地域社会における乳幼児の姿についても多面的にとらえている。	10.7	78.6	10.7	0
12	登園時の視診を徹底し、体調不良の幼児に休息をとらせたり家庭へ連絡するなど適切な処置をしている。	7.1	64.3	28.6	0
13	園内で危険が予想される箇所を把握し、事故等の予防に努めている。	28.6	53.6	17.8	0
14	個々の乳幼児の特性を理解し、発達状態や仲間関係などを的確に把握している。	21.4	75	3.6	0
15	乳幼児の話に耳を傾け、言葉にならない思いをも理解するよう心がけている。	46.4	53.6	0	0
16	乳幼児が自発的に活動できるような言葉かけや働きかけに努めている。	28.6	71.4	0	0
17	乳幼児の個性や性格、年齢や発達差に応じたかかわり方に努めている。	35.7	64.3	0	0
18	学級のことについて、担任以外の教職員とも情報交換できる環境にある。	42.9	46.4	10.7	0
19	教室の環境構成について、日常的に点検するとともに改善がなされている。	14.3	67.9	17.8	0
20	日常的に保護者と幼児に関する情報交換がなされ、意志疎通ができています。	14.3	78.6	7.1	0
21	自分の得意な分野だけでなく、不得意な分野についても積極的に研修している。	10.7	53.6	35.7	0
22	学級経営に止まらず、園の経営や環境にも目を向け視野を広げるよう努めている。	10.7	53.6	35.7	0
23	預かり保育やチーム保育や幼小連携など今日的課題にも目を向け研修している。	7.1	53.6	39.3	0
24	仕事の手順をよく考え、能率よく処理するよう努めている。	28.6	50	21.4	0
25	仕事外でも社会に目を向けたり趣味を深めるなど人間としての研鑽に努めている。	21.4	60.7	17.9	0
26	同僚や保護者とも積極的に交わる中から多くを学ぼうと努めている。	25	75	0	0
27	指導要録や健康診断記録簿などの文書を適切に作成し管理できる。	7.1	75	17.9	0
28	家庭との連携が密で、個々の乳幼児の家庭での生活の様子を把握している。	7.1	78.6	14.3	0

29	自分の考えをきちんと話し、保護者の話に心を開いて耳を傾けている。	21.4	67.9	10.7	0
30	保護者の子育て不安を理解し、積極的に子育て相談にも応じている。	14.3	75	10.7	0
31	クラスだよりや連絡帳などを工夫して、乳幼児の様子を知らせている。	17.9	57.1	25	0
32	地域の人材や施設や自然などを保育に組み入れようとする意識をもっている。	10.7	53.6	25	10.7
33	保育の向上に向けた職員同士のチームワークができています。	21.4	64.3	14.3	0
34	何でも気軽に園長や副園長や主任教諭などの上司に報告・連絡・相談ができる。	46.4	46.5	7.1	0
35	学級経営や保育について、お互いにフランクに意見を交換している。	25	60.7	14.3	0
36	平素から不審者等へは俊敏に対応できるよう心がけている。	35.7	53.6	10.7	0
37	不得手なことこそ積極的に取り組もうとしている。	25	64.3	10.7	0
38	メモ帳等を持ち歩き、気がついたことは忘れず書き留めようとしている。	35.7	46.4	17.9	0
39	収集した情報を、保育に取り入れ活かそうとしている。	42.9	42.9	14.2	0
40	個人情報を整理するとともに、情報保護には細心の注意をはらっている。	67.9	32.1	0	0

◎かなりできている、○ほぼできている、▲あまりできていない、×努力が必要

【幼保連携型認定こども園2年目】

認定こども園を設立し、今年度は2年目を迎えた。

認定こども園としての1年間は手探りのまま始まった部分も多かったがそれらを経験し、年間を通した行事や保育内容の整備をしながら進めることができた。大切にしたのは安全の部分と子どもが自らやりたいという気持ち、様々な行事や集団生活の中から得られる貴重な経験だ。そのためには、保育者主体の保育ではなく、子どもの姿を受け、子ども自らが活動したいと感じられる環境をいかに作ることが重要だということにつくる。

このような考えのもと、保育環境を整えるうえで必要なことは職員間の連携、チームワークである。年少の2人担任制に加え、年中クラスも2人担任制に拡大をすることにより、より配慮児に対する手厚い保育を目指した。また、保護者様との情報を共有しながら子どもの最善の利益のための支援をしていくことと考えながら保育を進めてきた。自己評価によるアンケート結果による課題と向き合いながら3年目を迎えより良い保育環境づくりをしていきたい。

【園行事等】

2年目の運動会も富士見市の市民総合体育館メインアリーナで開催した。①近年の猛暑による屋外活動の難しさ②雨天延期による混乱。本園は園庭も広く、園庭開催を望む声も多数あったが、屋内開催への賛成意見も多く寄せられた。昨年度は①0.1.2.3.年少②年中、年長の2部制の開催だったが、今年は全学年合同の運動会とした。また、宿泊を伴う夏の忍者学校(お泊まり保育)も昨年同様開催し、年長児には大変心に残る行事となった。

【情報共有と職員連携】

3.4.5歳児に加え新たに0.1.2歳児を保育する職員が増え、多くの職員の勤務がシフト制になったことにより、幼稚園時代にはできていた職員全体が集まって会議をする機会が年に数度と機会が少なくなってしまうため、職員間の情報共有や意見交換に課題が残っている。各分野のリーダー会議や乳幼連携会議などはあるが、連携をより深められるよう令和7年度に向けて乳児棟で働く職員と幼児棟で働く職員の仕事場所を一本化できるよう整備をすすめた。運営方針の共有や細かな行事の進行、引継ぎ等は引き続きネットと書面の両方を活用しながら行っていきたい。

【指導計画】

新たに加わった0.1.2歳児の子どもの成長を受けてより良い保育を目指すとともに、2歳児から3歳児にスムーズに進級、また、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿をとらえながら指導計画を立て保育に組み入れていきたい。

【特別支援】

園生活を送る中で特に一斉活動をする際に集中力が持続することが困難だったり、集団の活動がすすまないなど、様々な配慮が必要とする子がいる中で、園生活を楽しく過ごすために無理をさせることなく、支援機関と連携を取りながら合理的配慮ができるように努めたい。また、園内研修、eラーニングによる研修、対面によるケース会議を重ね、職員の知識・技術の向上に努めながら連続した保育ができるようにしていきたい。

【情報発信】

子どもたちが本日の活動の内容を保護者様に伝えることが困難という理由から、0.1.2歳児クラスの保護者様には活動記録としてコミュニナビを通して毎日情報発信をしている。3.4.5歳児クラスに進級すると子どもがその日に園で楽しかったことなどを少しずつ話すことができるようになるため、情報発信の頻度としては少なくなる。ただし、お迎えの際やその日に担任が気になることがある際には保護者様にお伝えするように心がけている。園の便りやクラスの便りは、紙による配布は行わないため、より見やすくレイアウトを検討したり、重要なところは目立つように工夫したりと、今後もわかりやすい情報発信の仕方を模索しながら保護者様と連携をとっていきたい。

【リーダー制とキャリアアップ】

園内では下記のような分野別リーダーを配置し、各々の分野で知識を深め、責任をもったリーダーとして職員全体に情報発信と研修による知識・技術獲得への活動を行っている。このことにより、自ら得意とする分野をさらに伸ばす経験や、初めて経験する分野への知識と技術獲得への機会を得ることができる。

リーダー: 主幹、副主任、保育、障害支援、乳幼連携、食育・アレルギー、研修、保護者支援、勤務体制改善、職員相談、子育て支援、保健衛生、体力づくり、安全、延長保育、土曜保育、給食改善、収穫、環境整備、訓練、行事等

【地域とのつながり】

地域との交流は、さまざまな人と交流する中で社会性や協調性の発達を促すことができる。現在は、地域で開催されるお祭りに制作物を提供することにより間接的に参加をしている。園内の掃除活動を拡大して、地域の方と清掃活動をしたり、近隣の施設を見学したり活動を園内ににとどめることなく広げていきたい。